

令和2年度 国本中央小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性を持ち、意欲をもって主体的に生きていくことができる心身ともに健康でたくましい児童の育成

- ☆ 心豊かで思いやりのある子ども（やさしく）
- ☆ 自ら学ぶ子ども（かしこく）
- ☆ 明るく元気な子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育目標達成のため、全職員が自らの使命を自覚し、「人間尊重の教育」を基盤とした誰もが安心して学べる活力ある学校づくりを推進する。

学校教育目標達成のためには、教職員が学校経営の方針を理解し、自らの使命を自覚して、児童のよりよい成長のために日々の教育活動にあたることが重要である。その過程において、保護者・地域住民と適切に連携していくことにより、教育の目的である、児童の望ましい人格が形成されていく。したがって、本校は、教職員の資質の向上により、児童が安心して生き生きと学ぶことができる活力ある学校づくりを推進し、上記の具体目標の達成を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）基礎・基本の確実な習得とそれらを活用する力の育成による学力の向上（かしこく）

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・学びに向かう力等と協働して課題を解決していく力の育成
- ・教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指した授業の実現
- ・まとめの学習の充実と家庭と連携した家庭学習の習慣化
- ・学力調査の結果を生かしたPDCAサイクルの構築による共通実践
- ・宮・未来キャリア教育の充実

（2）心の教育の充実による自己有用感の育成（やさしく）

- ・宮っ子心の教育を核とした人権尊重の教育の推進
- ・物事の多面性を理解し、自己を深く見つめる道徳教育の推進
- 児童の自信と自己有用感を高めるための認め励ます学級経営
- ・「市及び学校いじめ防止基本方針」を基にしたいじめを生まない指導の充実
- ・不登校を生まない支援の充実

（3）体力の向上と健康・安全意識の高揚（たくましく）

- 体力向上のための多様な運動に取り組む運動機会の確保と方法の工夫
- ・健康・安全な生活のための能力の育成
- ・家庭と連携した望ましい食習慣の育成
- ・学校教育全体を通じた危険予測と危険回避能力の育成

（4）教職員の資質向上を目指す取組

- ・PDCAサイクルによる教育活動の評価と改善
- ・信頼される教職員を目指した各種研修の充実
- ・教職員評価を生かした個人研修の充実

（5）地域とともにある学校づくりの推進

- 学校と地域が情報を共有し、児童の健全育成を図る連携を強化
- ・地域教育資源（人・物・場所）を効果的に活用した体験活動による郷土愛の涵養

（6）教員の働き方改革の推進

- ・教員の業務内容の見直しと勤務時間の適正化
- ・教職員の健康安全管理の徹底

[国本地域学校園教育ビジョン]

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」 ～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 保護者や地域に信頼される学校教育の展開
- (2) 確かな学力と健康・体力を育む教育の充実
- (3) 本校の特色ある活動を生かした豊かな心と社会性を育む教育の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- 豊かな環境と地域教育力を活用した誰もが安心して学べる活力ある学校づくりの推進
 - ・安全な学校づくり
 - ・児童が安心して楽しく過ごせる学校づくり
 - ・学力の向上を目指す学校づくり

【児童生徒指導】

- 学業指導の徹底による学びに向かう集団の育成
 - ・すべての児童にとって居がいのある温かい雰囲気 of 学級経営の実践

【学習指導】

- 自他を大切にし、共に学ぶ児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 自分の体に関心を持ち、進んで健康・体力の向上に努める児童の育成
 - ・教科体育・保健指導の充実と運動の日常化

【教職員の業務内容・勤務時間の適正化】

- ・重点目標の焦点化による、業務内容の精選・統合
- ・会議・研修内容の見直しと業務の効率化による勤務時間の適正化

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 聞き方の指導を重点的に行い、自分や友達の考えを比べながら聞けるようにする。 ② 「まず」「次に」「なぜなら…だからです」などの伝わりやすい話し方の型を提示したり観点を明確にしたりすることで、言語活動の充実を図る。 ③ 学習のめあてを明確にし、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 人権（特に高齢者）に関する知識・技能・態度などを身に付けられるよう全職員で研究を行い、思いやりやルールを守る心を育てる。 ② 道徳のワークシート等に保護者のコメント欄を設けるなどし、学校の取組みの発信を行う。 ③ 緑体験活動を引き続き充実させる。スタンダードダイアリーの「心を育てる50の言葉」を授業や帰りの会で活用し、先人の生き方等に触れ、生き方を振り返る手立てとする。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 85%以上	① 「学習のきまり」、「生活のきまり」、「月別の重点目標」を基に週の生活目標を設定し、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る。 ② 時間を守って行動できるよう、校庭での声掛けを実施する。 ③ 水道の使い方、廊下の歩き方について、生活当番の巡視の際など、全職員で重点的に指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 率先してあいさつができるように、児童会を中心としたあいさつ運動を継続して行い規範意識を高める。家庭・地域への啓発も意図的に行う。 ② 長期休業中にあいさつ実践カードを配付し、家庭への啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 学期始めの目標の設定の際には、児童の言葉で、具体的な目標を立てるよう支援する。また、学期途中や学期末での振り返りを必ず行い次の学期や学年につなげるように支援する。 ② 帰りの会や学級活動、道徳の時間等で頑張っている児童を認め、称賛する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 歯磨き指導を充実させ、歯磨きの定着を図る。 ② 長期休業中に、歯磨きカレンダーを配付し、家庭に対して歯磨きの啓発を図る。 ③ 病気の予防のため、うがい・手洗いの励行をする。 ④ 健康診断の結果を配付し、早期治療を勧める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 様々な職業にふれる、本や映像などの資料を使う、直接体験するなどの活動を通して、児童のキャリア教育的視野を広げる。 ② 児童が自分の良さや特徴を知ることができるよう、キャリアパスポートを活用し、学級活動内容を充実させる。 ③ みどり活動と連携し、地域に花を届ける活動を充実させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 外国語科および外国語活動の時間では、ALTと協力して児童に興味をもたせながら授業を進め、児童の様子に合った声掛けをする。 ② 英語の本の読み聞かせを聞いたり、普段の生活の中で英語を使ってやり取りしたりする場を意図的に設け、英語に慣れ親しむことができるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】

A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、宇都宮市のよさを知っている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① 国本地区や宇都宮市の良さに関連する学習内容を教科・領域、行事等で積極的に扱う。その際、事前・事後の指導を充実させ、地域や市の良さを理解できるようにする。 ② 国本地区の良さを伝える写真資料を、計画的に視聴できるようにすることや、引き続きお昼の校内放送で、地区で採れたモチ米等の食材を披露するなどして、地域の人との関わりを意図的に知らせることで、地域の良さに気付かせ、愛着をもてるようにする。 ③ 授業参観等で、地域や宇都宮市について学習している様子を公開して、宇都宮市のよさを保護者と共有できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童はパソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 図書館利用年間計画・I C T機器の活用計画をもとに見通しをもってそれらを活用する。 ② 児童がパソコンや図書等を学習に活用している様子を授業参観やたより等で取り上げたり、情報モラル家庭通信を発行したりして、学校での取り組みの様子を保護者へ発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 道徳の授業では、「親切・思いやり」に関する指導を重点指導項目として設定し、児童に教材を通して考えを深めさせることで思いやりの心を育む。 ② 総合的な学習の時間に、高齢者体験等を行い、高齢者に対する理解を深める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① みどり活動や稲作活動等、「持続可能な社会」と関連のある活動を行う際は、それらの関連について児童に指導する時間を設ける。 ② 活動の事後指導の場を設定し、児童自身が活動の意義を考えられるようにする。 ③ 実施計画内に事前・事後指導の要点を示し、全職員で統一した指導を行えるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
B1 児童は、家庭学習に進んで取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「家庭学習に進んで取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 時期に合わせて家庭学習通信を発行し、家庭学習の意義をより理解できるように示し、さらに懇談会等で保護者の理解と協力を得る。 ② 家庭学習の大切さを「家庭学習のすすめ」を読み上げながら児童に伝え、家庭学習への意欲を高める。 ③ 「家庭学習振り返りカード」を活用して、家庭学習の意識化を図り、進んで家庭学習に取り組もうとする意欲をもてるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別な支援を必要とする児童の実態を把握し、関係する教職員や保護者と情報共有をして支援の方向性を示す。 ② 児童に応じた指導方法の工夫を行い、特別な支援を必要とする児童にとっても、分かりやすい授業の展開をする。 ③ 必要に応じて校内支援委員会を開き、個別の支援計画を作成してかがやきルームやSC、センター、保護者との連携を図っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 定期的なアンケート調査や教育相談により、子供の実態把握と、いじめ防止・早期発見に努め、適切な対処をする。 ② 学校だより・学年だより等でアンケート調査や教育相談などの学校での取り組みを保護者に知らせる。 ③ 道徳の授業公開をする際、いじめ防止を扱った内容を行い、保護者へのいじめ防止活動の周知を強化する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人への児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童や保護者に積極的にかかわり、普段からの信頼関係づくりに努める。 ② 養護教諭、スクールカウンセラー、市のセンターと積極的に連携を図り、アドバイスをもらいながら指導に活かしていく。欠席状況調査票も活用し、月5日以上欠席累計だけでなく、トータルの欠席累計の状況や遅刻・早退の動きなどを分析し、潜在的な不登校児の早期発見と対応に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教職員が異文化への広い知識と理解を率先して身に付け、児童が世界の誰とでも仲良くなれるような国際感覚を養う。 ② 道徳やその他の授業を通して、人権感覚や国際感覚を育てる。 ③ 教職員の校内語学研修を行い英語力向上を励むとともに、関係機関と提携し、児童の実態に応じて日本語指導の時間を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童がより主体的に関わることができるよう学校行事の改善を図り、生活科や総合的な学習の時間では、地域の特色を生かした教育活動の充実をめざす。 ② 人権コーナーや心ぽかぽか運動等の充実を図り、人権感覚を養うことで相手を思いやる心を育てる。 ③ 全体での話し合い活動を充実させ、活気ある学校づくりを目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 毎時間、学習のめあてとまとめを明確に板書し、ふりかえりもノートに書くように指導すると共に、ICTやタブレット、また学びポケットなどの活用を進める。 ② 児童の実態を把握し、習熟度別学習やT・T（ティーム・ティーチング）、かがやきルームでの学習など多様な指導方法を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 各学年の担任が協力して教材研究を進め、分かる授業の実践に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 専門スタッフも含めた組織を明確にし、教職員間で業務内容・役割分担等について共有し、連携につなげていけるように時間と場所を十分に確保する。 ② 教職員一人一人の専門性を生かし、「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 多様な専門性を有する学校スタッフの業務を校務分掌に組織的・計画的に配置する。 ② 業務内容の可視化を図り、職員間の連携を強化する。 ③ PDCAサイクルによる学校行事の精選校務分掌の見直し等により、業務量の縮減を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園全体研修会等の機会を活用し、各部会での情報交換を通して、各校が共通理解のもと目標に向けて連携・協力して指導にあたる。 ② 部会の活動内容、成果や課題について報告会を開催し、地域学校園内の児童生徒の取組（あいさつ運動など）や課題について共通理解を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 地域の人的・物的資源を含んだ地域の教育力を教育活動へ積極的に取り入れることで、地域を生かした特色ある学校づくりに努める。 ② 学校行事等に地域の方々が関わっていることを児童に日常的に伝えらるとともに、行事の振り返りの場を設けるなどして児童の達成感や成就感を高める。 ③ ホームページや各種たより等で行事等を積極的に紹介・発信していくことで、本校の特色ある教育活動についての周知を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 家庭・地域・企業等やPTAとの連携をさらに推進し、地域に根差した特色ある学校づくりを目指す。 ② 地域の人的・物的資源を有効に活用し教育活動の充実を図るとともに、より効果的な方法で広く情報を発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 職員で分担し、月1回校舎内外の安全点検を丁寧に実施する。 ② 異常を発見した場合には、早急に担当者に連絡し、修理等に迅速に対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「児童はパソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 図書館利用年間計画をもとに学習に必要な資料を準備する。 ② 教師の指導力向上のため、授業内で児童がパソコンやICT機器を活用しながら学習できるよう研修を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 学校は、栽培・緑化活動を通して、自然体験や体験的な学習を推進している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、栽培・緑化活動を行い、自然に親しんでいる」 ⇒地域の肯定的回答 80%以上	① 「みどりの少年団」、「緑化コンクール」等の活動を通じた学校環境緑化活動を引き続き推進する。 ② 「ブルーベリー栽培」「稲作体験」等の体験活動を引き続き推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。